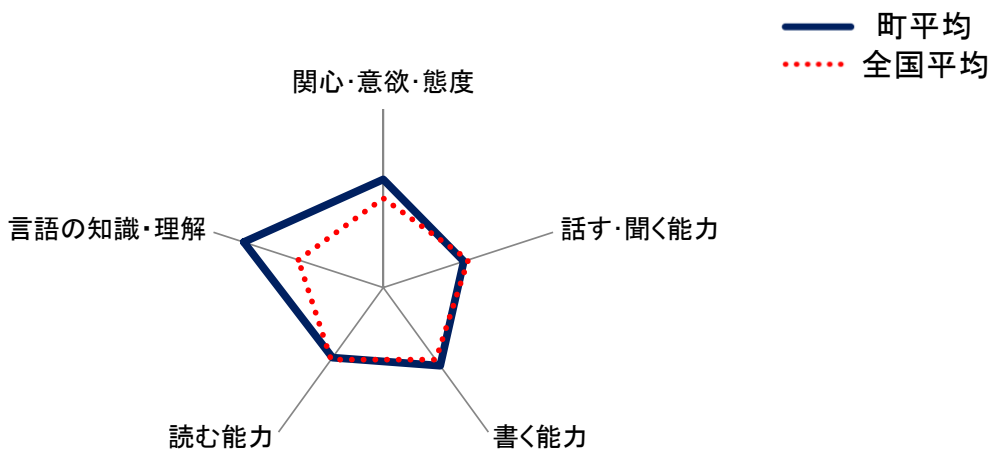


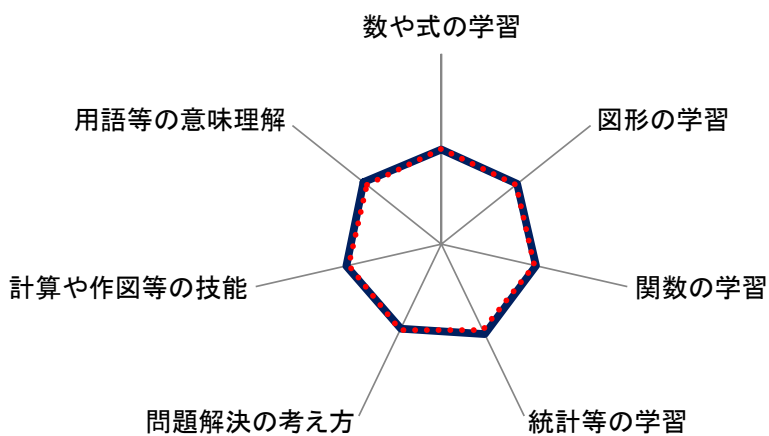
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

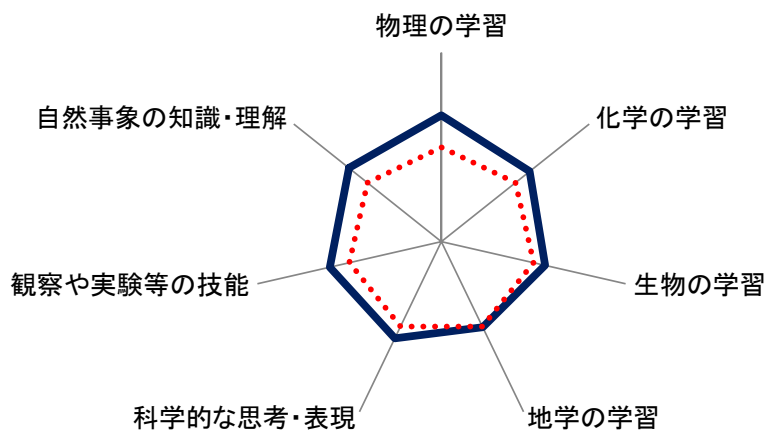
【国語】



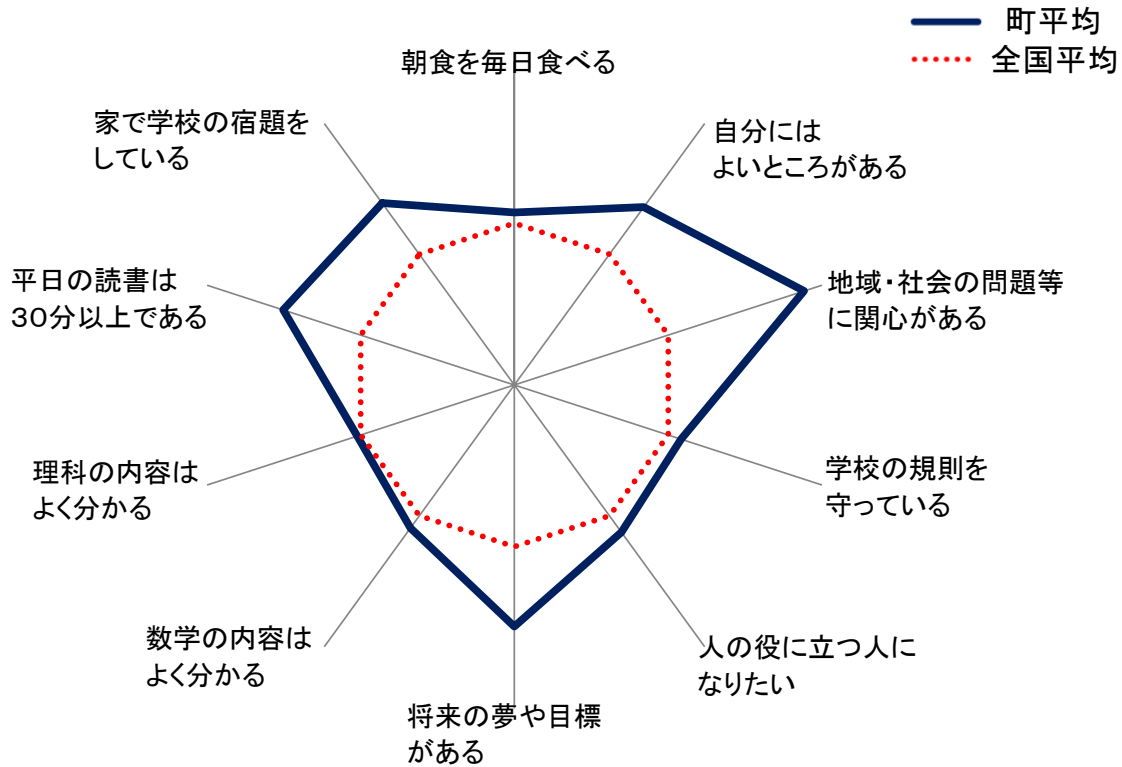
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。国語は、小学校と同様に「言語の知識・理解」が全国平均を大きく上回っており、理科は「物理・化学の学習」、「観察や実験等の技能」、「自然現象の知識・理解」の各項目が良好で、バランスの取れた学力が育成されている。今後は特に、数学における更なる学力の向上と定着に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている全ての項目で、肯定的な回答が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に「地域・社会の問題等に関心がある」、「将来の夢や目標がある」、「平日の読書は30分以上である」、「家で学校の宿題をしている」の各項目の肯定的な回答が全国平均を大きく上回っており、基本的な生活習慣の確立や地域・社会に対する関心の強さが見られる。今後も、生徒一人一人に応じた教育を推進するために、学校と家庭、地域が連携して取り組んでいくことが望まれる。